

日本医師会新型コロナワクチン速報【第13号】

新型コロナウイルスのワクチンに関する現時点における確定情報を速報いたします。必要とされているにもかかわらず不確定な情報については、確定され次第ご案内いたします。

【目次：第13号】

1. ワクチン供給について
2. ワクチン接種体制の好事例について

1. ワクチン供給について

- ・ 2021年6月末までに国内に入荷されるファイザー製のワクチンは約1億回分です。
[新型コロナワクチンの供給の見通し https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_supply.html]
- ・ 2021年6月29日時点の、国の発表による総接種回数は約4,300万回です。医療従事者およびVRSに登録された接種回数であり、実際はもう少し多いと思われます。
[首相官邸 新型コロナワクチンホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>]
- ・ 個別接種施設への供給が滞っているとの報告や、日本医師会女性医師バンクの新型コロナワクチン接種人材確保相談窓口から医師、看護師を紹介した職域接種会場にワクチンが届かず、接種を中止した事例が発生しています。
- ・ 基本接種施設や自治体とともに郡市区医師会も協力し、供給可能なワクチンの調整や再分配が必要です。

2. ワクチン接種体制の好事例について

- ・ 地域における「新型コロナウイルスワクチン接種体制」の構築・運用に関して、好事例をご紹介します（回収期間：令和3年6月17日～6月28日）。
[令和3年6月2日付日医発第201号（健Ⅱ125F）]
- ① 愛知県 豊田加茂医師会：豊田市、みよし市と医師会との協議で集団接種と個別接種の計画を立てている。医師会が市の担当者を招聘してワクチン接種の説明会や勉強会を開催し、接種方法や運営に係る疑問点を解消することに努めた。
- ② 神奈川県 横浜市医師会：横浜市が必要な予算を確保するとともに、集団接種の計画時点から、市と医師会との協調体制ができていたこと、市医師会と各区医師会が、担い手の募集や運営事務業務を請け負うなど、行政と効率の良い業務分担ができたことにより、集団接種会場を市内18区で一斉に開始できた。